

至らなかった点と反省しております。

オンライン形式での開催となった今学術集会在、各施設で尽力されている取り組みや工夫をより広く情報共有し、地域の医療水準の向上につながりますことを祈念いたします。

## 第22回長崎支部学術集会

学術集会会長：長崎県島原病院院長 木下明敏

2023年  
2月18日  
(土)に長崎  
県島原病院  
を会場とし  
て第22回長  
崎支部学術  
集會を開催  
しました。



会場風景

人口減少など厳しい課題の多い地域医療を今後も持続可能としていくマネジメントを考えようと、学術集會のテーマを「地域医療マネジメントとSDGs」としました。

特別講演では、長崎大学総合診療科教授の前田隆浩先生より「地域医療を支える人材育成～総合診療の視点から～」と題し、総合診療医を育成する多くの取り組みが紹介されました。

ワークショップ「コロナ禍での島原地域における医療連携の取り組み」では、高尾雅己島原市医師会会長、松尾美津子長崎県島原病院副看護部長、村里季代訪問看護ステーションQ所長、川上総子県南保健所長の4名の方々から、コロナ禍で行っている其々の医療連携を語っていただきました。

一般演題では、「医療安全」、「医療連携」、「業務の質」、「教育」、「その他」の5セッション20題が、ハイブリッド形式で発表され、セッション毎の優秀演題に学会賞を贈りました。

現地参加は23名、Web参加は31名でした。開催に当たり関係者の皆様からのご支援ならびにご協力に深謝申し上げますとともに、学術集會も盛会裏に無事終了いたしましたことを茲にご報告いたします。

## 第21回千葉支部学術集会

学術集会会長：千葉労災病院副院長 安川朋久

2023年3月4日(土)、「働き方改革と医療の質の向上」をテーマに日本医療マネジメント学会第21回千葉

支部学術集會を開催いたしました。

特別講演では、千葉大学医学部附属病院の横手幸太郎先生より「コロナ禍の病院運営から考える働き方改革と組織マネジメント」、また日本医療機能評価機構客員研究主幹、独立行政法人労働者健康安全機構の梅里良正顧問より「働き方改革と医療の質の向上ーより良い病院を目指してー」と題し、ご講演いただきました。一般演題は、「働き方改革」「医療の質」をテーマに14演題の発表がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、会場開催とWEB開催のハイブリッド形式での開催となりましたが、会場参加50名、WEB参加28名のご参加をいただき、盛会のうちに終了いたしました。

最後に、開催にあたりご協力いただきました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

## 第22回神奈川県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人労働者健康安全機構  
横浜労災病院病院院長 三上容司

第22回神奈川県支部学術集會は2023年3月4日(土)横浜市技能文化会館で開催し235人のご参加をいただきました。わが



会場風景

国では少子高齢化の進行に伴い、中・高齢者の更なる労働参加が欠かせません。中・高齢者につきものなのが、”病気”です。疾病の治療と仕事の両立を支援することにより、病気を抱えた方が無理なく仕事に就ける、あるいは、継続できる病院づくり、環境づくりが益々重要になると考え、「仕事と治療の両立を支援する病院づくり」を本学術集會のテーマといたしました。特別講演として、独立行政法人労働者健康安全機構の統括研究ディレクター大西洋英先生をお招きして「治療と仕事の両立支援とは～その概念から実践まで～」と題してご講演いただきました。また、シンポジウムでは「両立支援とワーク・エンゲイジメント～働きたくなる病院はココが違う～」をテーマに、両立支援に関わってきた方々にシンポジストをお願いし、会場を交えて活発な議論を行うことができました。